



栃木県の経済情勢報告

令和4年1月25日

財務省関東財務局
宇都宮財務事務所

お問い合わせ先
宇都宮財務事務所 財務課
電話番号 028-346-6301 (直通)

1. 総論

【総括判断】「新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある」

項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡

（注）4年1月判断は、前回3年10月判断以降、4年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡
生産活動	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	持ち直しつつある	↗
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡
設備投資	3年度は増加見込みとなっている	3年度は増加見込みとなっている	➡
企業収益	3年度は減益見込みとなっている	3年度は減益見込みとなっている	➡
企業の景況感	「上昇」超となっている	「上昇」超となっている	➡
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	➡
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	➡

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

百貨店・スーパー販売額や家電大型専門店販売額、乗用車新車登録届出台数などが前年を下回っているものの、ドラッグストア販売額が前年を上回っている。また、宿泊や飲食サービスについては、持ち直しつつある。このように、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 7～9月と比べた10～12月の売上は微増であるが、回復傾向にある。特に、クリスマスや年末年始の売上は好調で、ケーキやおせちを中心に売上を伸ばし、菓子類の売上も伸びた。(百貨店、中小企業)
- 全体的に好調(特に家電、ゲーム)であるが、前年と比較すると、巣ごもり需要の反動や買い替え需要の一服もあり、特にテレビの売上が減少している。(家電量販店、中小企業)
- 半導体等部品の納入不足が影響し、完成車の納車が遅れているため、前年と比較した売上は減少しているが、9月を底として回復してきている。(自動車販売店、中堅企業)
- 緊急事態宣言解除後は、外食自粛の反動需要等により来店客が増加した。(飲食、中小企業)

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、輸送機械や金属製品などが低下しているものの、業務用機械や電気機械、化学などが上昇しているなど、持ち直しつつある。

- 7～9月と比較した10～12月の生産量は、引き続き半導体不足ではあるものの、それ以外の部品納入の回復もあり、増加している。(輸送機械、大企業)
- 中国の減産により、各国で鉄鋼不足となっていることも影響し、生産量は増加している。(鉄鋼、大企業)
- 世界的(特に国内、米国)に市場が回復しており、高価格帯製品の需要が伸びている。(電気機械、大企業)

■ 雇用情勢

「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

雇用情勢は、感染症の影響がみられるなか、有効求人倍率が概ね横ばいとなっており、緩やかに持ち直しつつある。

- 今後、生産設備の増強により、生産量の増加が見込まれるため、人員を増やしているところ。(化学、中堅企業)
- 新規採用について、令和3年春は緊急事態宣言もあり採用を控えていたが、その分、令和4年春で採用を増やした。(宿泊、中小企業)

■ 設備投資 「3年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10～12月期

- 3年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比11.9%の増加見込み、非製造業では同9.3%の減少見込みとなっており、全産業では同1.8%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「3年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」3年10～12月期

- 3年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比3.2%の減益見込み、非製造業では同9.8%の減益見込みとなっており、全体では同6.4%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10～12月期

- 企業の景況判断BSIを現状判断についてみると、全規模・全産業で「上昇」超となっている。なお、先行きについて、全規模・全産業でみると、4年1～3月期に「下降」超に転じるものの、4～6月期に再び「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、貸家は前年を下回っているものの、持家、分譲住宅は前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

- テレワークの普及等から、都心の割高な賃貸を借りるよりも、価格に比して、広い間取りが確保できる郊外の住宅を求め傾向が強くなっている。(不動産、大企業)

■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、国は前年を上回っているものの、県、市町は前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

■ 企業倒産 「件数及び金額ともに前年を上回っている」



栃木県の経済情勢報告

資料編

令和4年1月25日

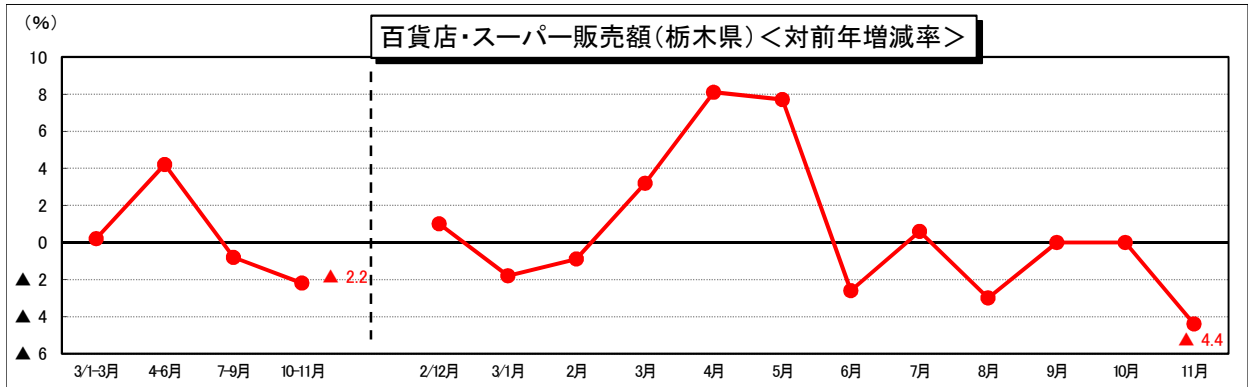
財務省関東財務局
宇都宮財務事務所

お問い合わせ先
宇都宮財務事務所 財務課
電話番号 028-346-6301 (直通)

1. 個人消費

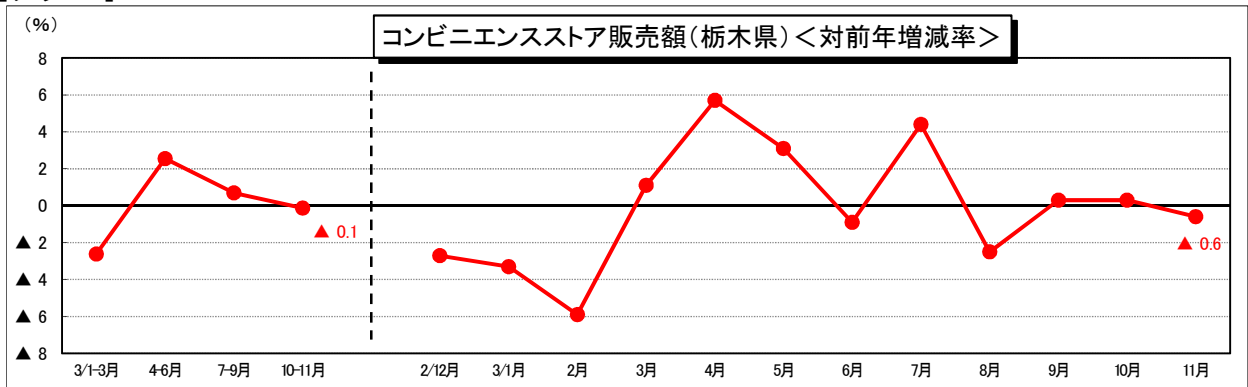
新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある

[グラフ1]



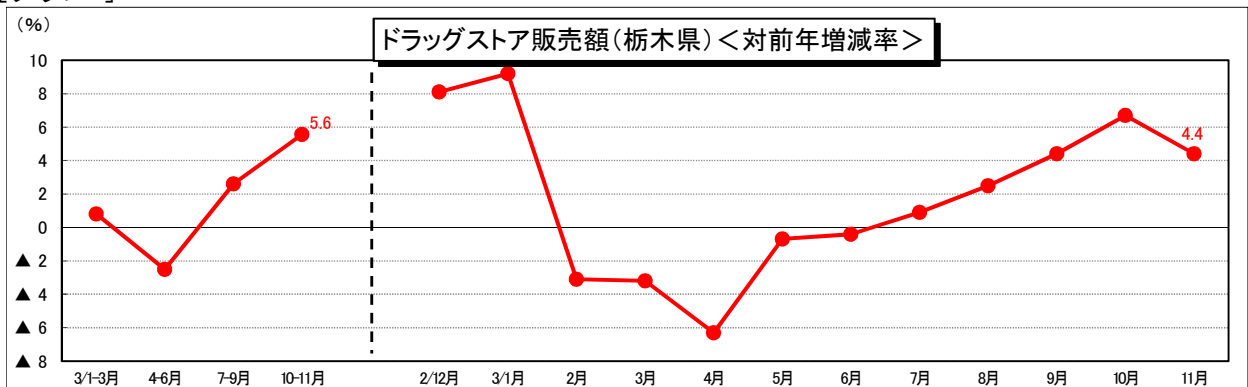
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ2]



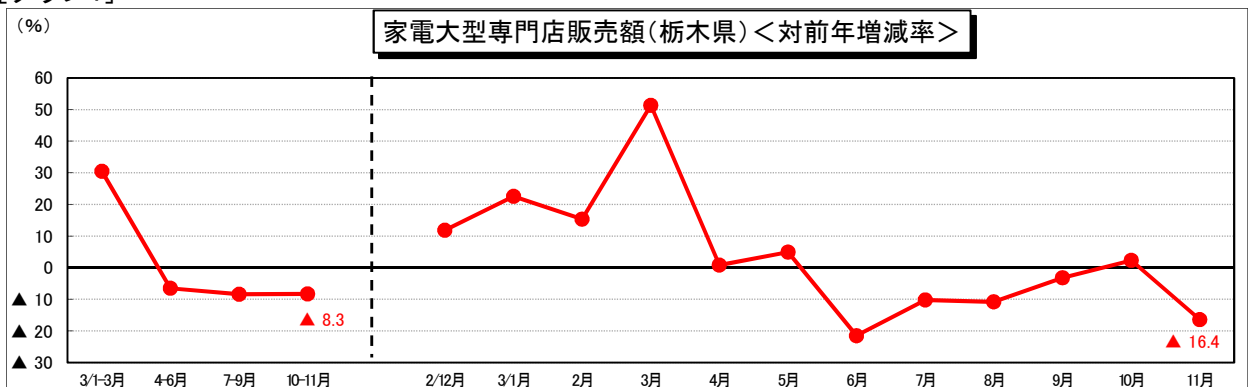
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ3]



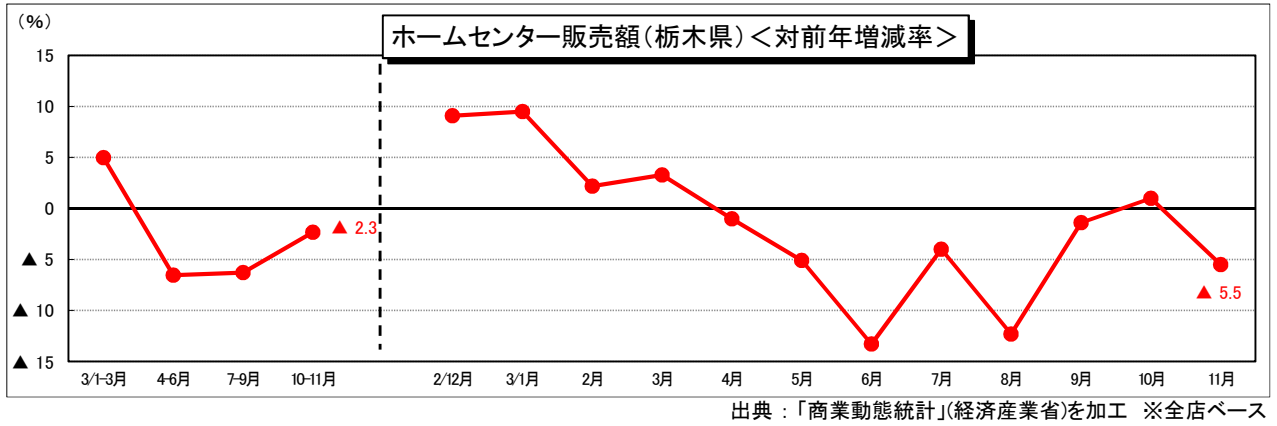
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ4]

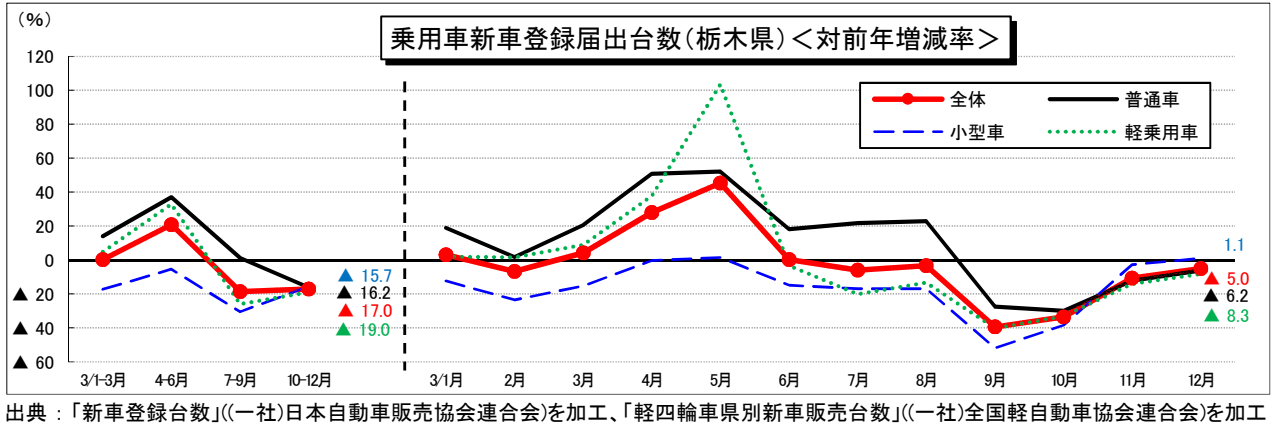


出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ5]



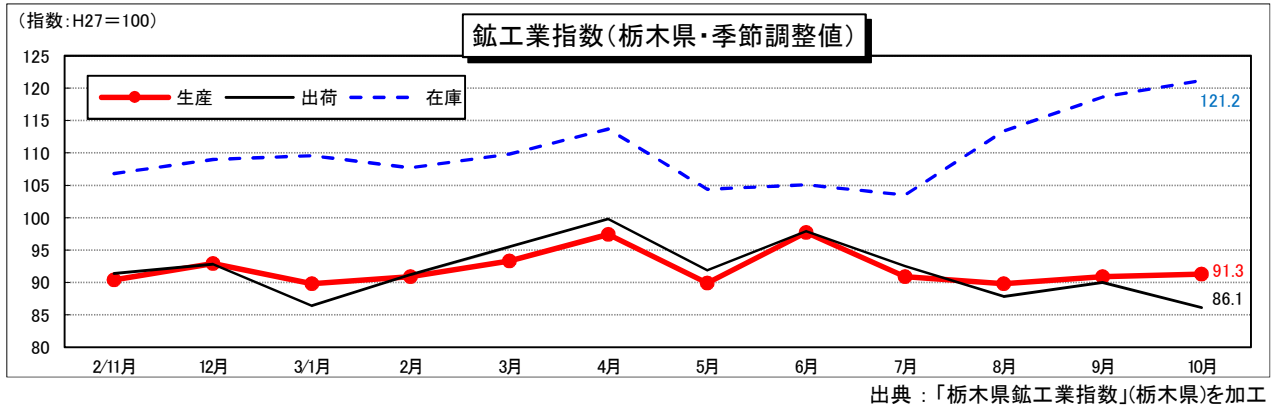
[グラフ6]



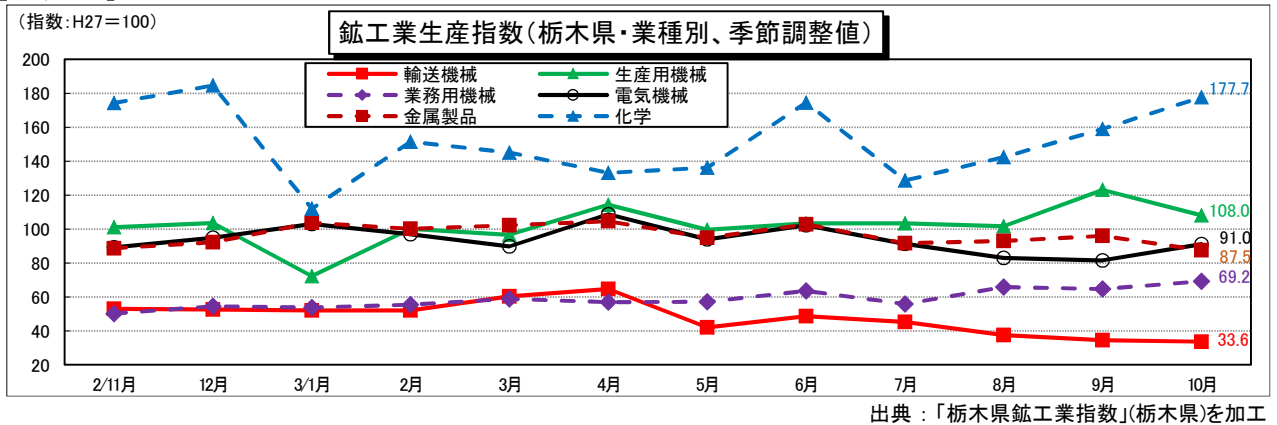
2. 生産活動

持ち直しつつある

[グラフ7]



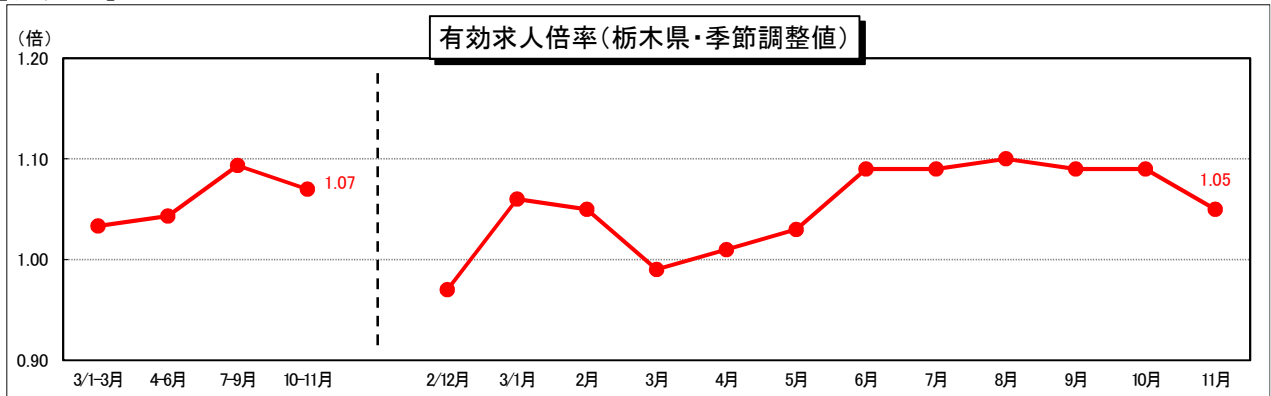
[グラフ8]



3. 雇用情勢

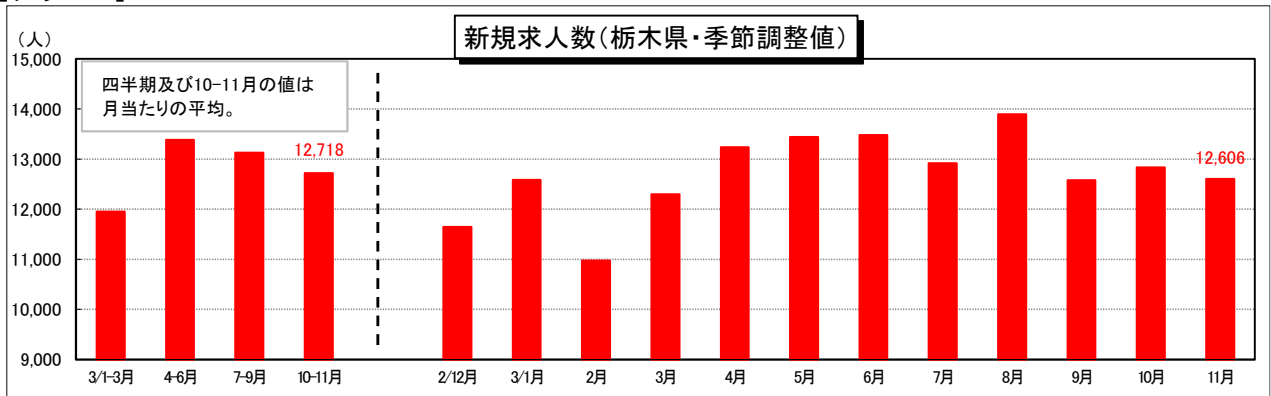
新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある

[グラフ9]



出典：「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」(厚生労働省)を加工 ※新規卒卒者を除きパートタイムを含む

[グラフ10]

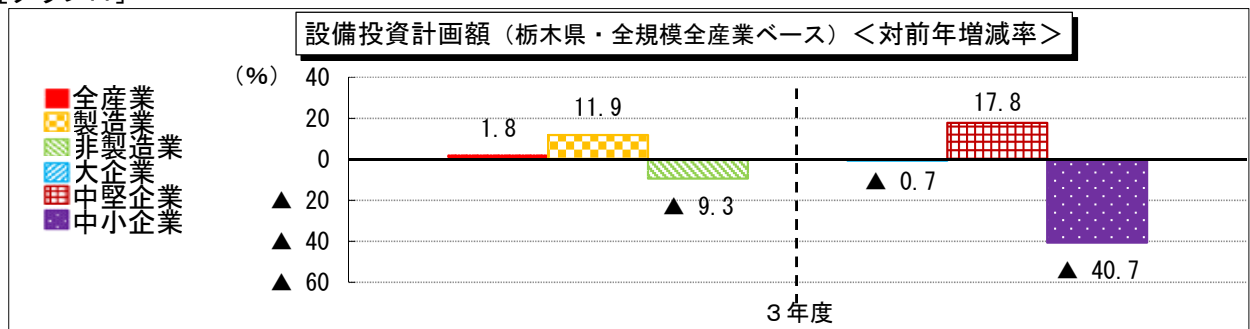


出典：「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」(厚生労働省)を加工 ※新規卒卒者を除きパートタイムを含む

4. 設備投資

3年度は増加見込みとなっている

[グラフ11]

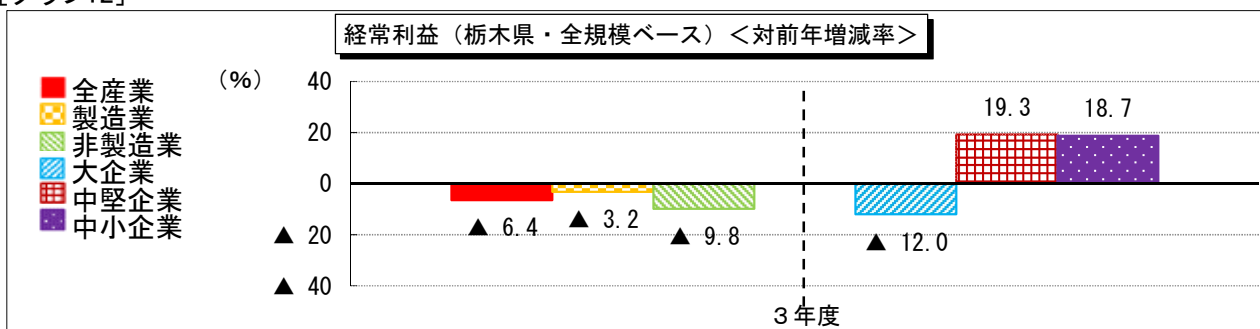


出典：「法人企業景気予測調査(令和3年10~12月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

5. 企業収益

3年度は減益見込みとなっている

[グラフ12]

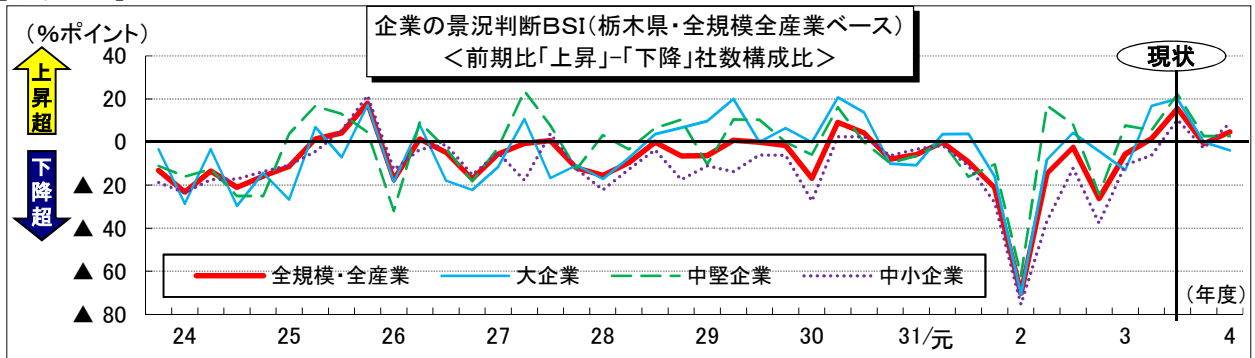


出典：「法人企業景気予測調査(令和3年10~12月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

6. 企業の景況感

「上昇」超となっている

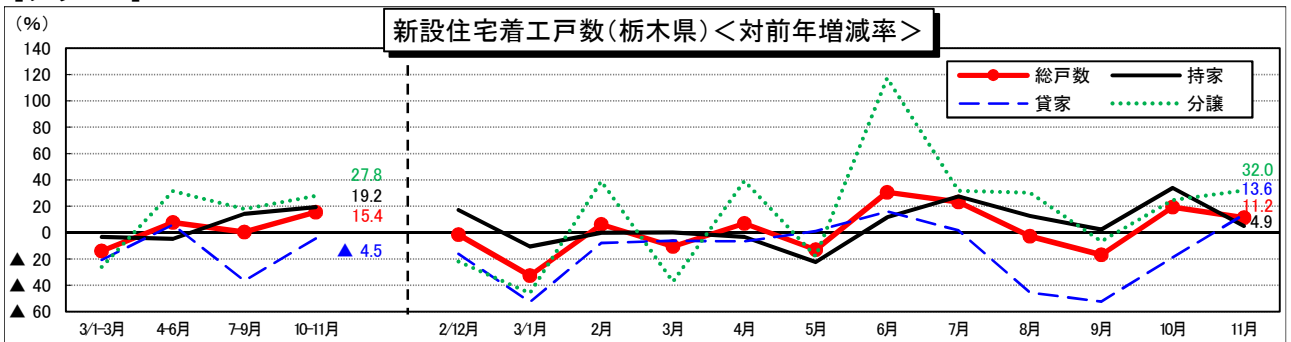
[グラフ13]



7. 住宅建設

前年を上回っている

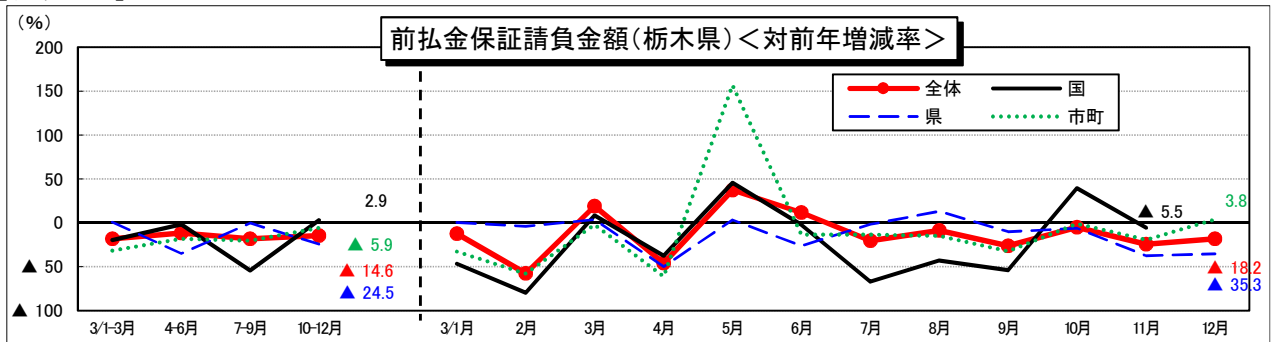
[グラフ14]



8. 公共事業

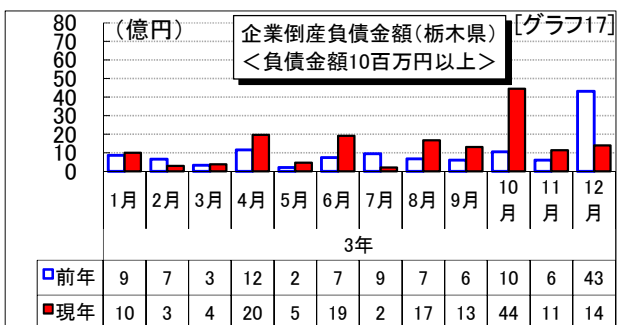
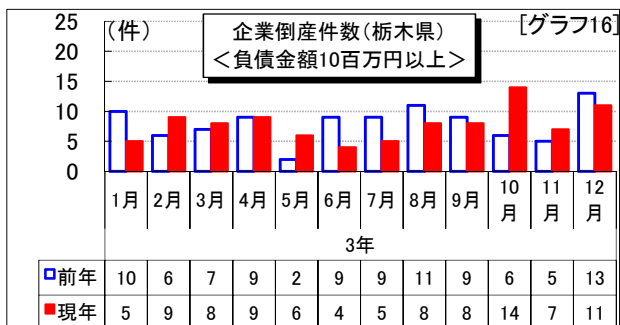
前年を下回っている

[グラフ15]



9. 企業倒産

件数及び金額ともに前年を上回っている



出典：「栃木県内企業倒産整理状況」(㈱東京商工リサーチ 宇都宮支店)を加工